

「山梨中銀 Biz ダイレクト」データ伝送サービス

口座振替サービスにおけるファイルフォーマット

1. 請求（収納）データファイルのフォーマット

※ 口座振替の請求データを作成するソフトのファイル形式・フォーマットは、当該ソフトの販売元にご確認ください。

・ 全銀フォーマットのファイル形式

レコード 名称	ヘッダ レコード	改 行	データ レコード 1	改 行	...	データ レコード n	改 行	トレーラ レコード	改 行	エンド レコード	改 行	E O F
バイト数	120	2	120	2		120	2	120	2	120	2	1

ファイル形式	全銀協規定フォーマット
コード	<ul style="list-style-type: none"> 改行コード（「CR+LF(0d0a)」、「CR(0d)」、「LF(0a)」） ファイルは、改行コードなしの形式でも受付可能です。 エンドレコードの後の改行コードおよび EOF(1a) は任意とします。 このシステムでは、ファイル内の改行コードを一律削除し、120 バイト単位にレコードとして取扱います。
文字コード	JIS コード（漢字は第一・第二水準のみ） EBCDIC は不可

※ 以下の「区分」欄の記号は、「○:必須、△:条件により設定が必要、-:任意」を示します。

※ 以下の「データ長」欄は、「N:数字、C:文字（漢字を除き、数字を含む）、カッコ内はバイト数」を示します。

A. ヘッダレコード（120 バイト）

項番	項目名	データ長	内容	備考	区分
1	データ区分	N(1)	レコード種別	1:ヘッダレコード	○
2	種別コード	N(2)	業務種別	91:預金口座振替	○
3	コード区分	N(1)	文字コード種別	0:JIS	○
4	委託者コード	N(10)	金融機関が採番した委託者コード		○
5	委託者名	C(40)	委託者名		○
6	引落日	N(4)	振替（引落）指定日		○
7	取引銀行番号	N(4)	請求元金融機関コード	統一金融機関番号	○
8	取引銀行名	C(15)	請求元金融機関のカナ名		—
9	取引支店番号	N(3)	請求元支店コード	統一店番号	○
10	取引支店名	C(15)	請求元支店のカナ名		—
11	預金種目	N(1)	入金口座の科目		○
12	口座番号	N(7)	入金口座の口座番号		○
13	ダミー	C(17)	未使用		—

B. データレコード(120 バイト)

項番	項目名	データ長	内容	備考	区分
1	データ区分	N(1)	レコード種別	2:データレコード	○
2	引落銀行番号	N(4)	請求先金融機関コード	統一金融機関番号	○
3	引落銀行名	C(15)	請求先金融機関のカナ名称		△
4	引落支店番号	N(3)	請求先支店コード	統一店番号	○
5	引落支店名	C(15)	請求先支店のカナ名称		△
6	ダミー	C(4)	未使用		—
7	預金種目	N(1)	請求先口座の科目		○
8	口座番号	N(7)	請求先口座の口座番号		○
9	預金者名	C(30)	預金者のカナ名称		○
10	引落金額	N(10)	引落金額		○
11	新規コード	N(1)	未使用		—
12	顧客番号	C(20)	顧客番号		△
13	振替結果コード	N(1)	未使用		—
14	ダミー	C(8)	未使用		—

C. トレーラレコード(120 バイト)

項番	項目名	データ長	内容	備考	区分
1	データ区分	N(1)	レコード種別	8:トレーラレコード	○
2	合計件数	N(6)	合計請求件数		○
3	合計金額	N(12)	合計請求金額		○
4	振替済件数	N(6)	振替(引落)済の件数		—
5	振替済金額	N(12)	振替(引落)済の金額		—
6	振替不能件数	N(6)	振替(引落)不能の件数		—
7	振替不能金額	N(12)	振替(引落)不能の金額		—
8	ダミー	C(65)	未使用		—

D. エンドレコード(120 バイト)

項番	項目名	データ長	内容	備考	区分
1	データ区分	N(1)	レコード種別	9:エンドレコード	○
2	ダミー	C(119)	未使用		—

2. 請求（収納）データファイルのフォーマット

ファイル形式	CSV形式（カンマ区切り）
コード	・改行コード（「CR+LF(0d0a)」、「CR(0d)」、「LF(0a)」） ・エンドレコードの後の改行コードおよび EOF(1a) は任意とします。
文字コード	JISコード（漢字は第一・第二水準のみ） EBCDICは不可

※ 以下の「区分」欄の記号は、「○:必須、△:条件により設定が必要、-:任意」を示します。

※ 以下の「データ長」欄は、「N:数字、C:文字（漢字を除き、数字を含む）、K:漢字、カッコ内はバイト数」を示します。

A. ヘッダレコード

項番	項目名	データ長	内容	備考	区分
1	データ区分	N(1)	レコード種別	1:ヘッダレコード	○
2	種別コード	N(2)	業務種別	91:預金口座振替	○
3	コード区分	N(1)	文字コード種別	0:JIS	○
4	委託者コード	N(10)	金融機関が採番した委託者コード		○
5	委託者名	C(40)	委託者名		○
6	引落日	N(4)	振替（引落）指定日	MMDD	○
7	取引銀行番号	N(4)	請求元金融機関コード	0142	○
8	取引銀行名	C(15)	請求元金融機関のカナ名		—
9	取引支店番号	N(3)	請求元支店コード	統一店番号	○
10	取引支店名	C(15)	請求元支店のカナ名		—
11	預金種目	N(1)	入金口座の科目		○
12	口座番号	N(7)	入金口座の口座番号		○
13	ダミー	C(17)	未使用		—

B. データレコード

項番	項目名	データ長	内容	備考	区分
1	データ区分	N(1)	レコード種別	2:データレコード	○
2	引落銀行番号	N(4)	請求先金融機関コード	0142	○
3	引落銀行名	C(15)	請求先金融機関のカナ名称		△
4	引落支店番号	N(3)	請求先支店コード	統一店番号	○
5	引落支店名	C(15)	請求先支店のカナ名称		△
6	ダミー	C(4)	未使用		—

項番	項目名	データ長	内容	備考	区分
7	預金種目	N(1)	請求先口座の科目		○
8	口座番号	N(7)	請求先口座の口座番号		○
9	預金者名	C(30)	預金者のカナ名称		○
10	引落金額	N(10)	引落金額		○
11	新規コード	N(1)	未使用		—
12	顧客番号	C(20)	顧客番号		△
13	振替結果コード	N(1)	未使用		—
14	ダミー	C(8)	未使用		—

C. トレーラレコード

項番	項目名	データ長	内容	備考	区分
1	データ区分	N(1)	レコード種別	8:トレーラレコード	○
2	合計件数	N(6)	合計請求件数		○
3	合計金額	N(12)	合計請求金額		○
4	振替済件数	N(6)	振替（引落）済の件数		—
5	振替済金額	N(12)	振替（引落）済の金額		—
6	振替不能件数	N(6)	振替（引落）不能の件数		—
7	振替不能金額	N(12)	振替（引落）不能の金額		—
8	ダミー	C(65)	未使用		—

D. エンドレコード

項番	項目名	データ長	内容	備考	区分
1	データ区分	N(1)	レコード種別	9:エンドレコード	○
2	ダミー	C(119)	未使用		—

3. 振替結果ファイルの出力フォーマット（口座振替）＜ CSV形式 ＞

ファイル形式	CSV 形式（カンマ区切り）
レコード形式	項目 1, 項目 2, 項目 3, …項目 X
レコードごとの改行コード	レコードごとに改行、改行コード「CR+LF(0d0a)」
文字コード	JIS コード（漢字は第一・第二水準のみ）

A. ヘッダレコード

項番	項目名		文字種 (文字数)	内容	備考
1	データ区分		半角(1)	レコード種別	1:ヘッダレコード
2	委託者コード		全角(10)	委託者コード	
3	委託者名		全角(40)	委託者名	
4	引落指定日		半角(4)	振替（引落）指定日	mmdd
5	入金 口座 情報	金融機関コード	半角(4)	請求元金融機関コード	
6		支店コード	半角(3)	請求元支店コード	
7		科目	半角(1)	入金口座の科目	
8		口座番号	半角(7)	入金口座の口座番号	
9	請求元カナ金融機関名		全角(15)	請求元金融機関のカナ名	
10	請求元カナ支店名		全角(15)	請求元支店のカナ名	

B. データレコード

項番	項目名		文字種 (文字数)	内容	備考
1	データ区分		半角(1)	レコード種別	2:データレコード
2	請求 先 口座 情報	金融機関コード	半角(4)	請求先金融機関コード	
3		支店コード	半角(3)	請求先支店コード	
4		科目	半角(1)	請求先口座の科目	
5		口座番号	半角(7)	請求先口座の口座番号	
6	請求先カナ金融機関名		全角(15)	請求元金融機関のカナ名	
7	請求先カナ支店名		全角(15)	請求先支店のカナ名	

(次頁へ続く)

B. データレコード (続き)

項番	項目名	文字種 (文字数)	内容	備考
8	預金者名	全角(30)	預金者のカナ名称	
9	引落金額	半角(10)	請求(引落)金額	
10	新規コード	半角(1)	新規コード	このシステムでは、常に「0」をセットします。
11	顧客番号	全角(20)	委託先が定めた顧客番号	
12	振替結果コード	全角(1)	振替結果を表すコード	0:振替済み 1:資金不足 2:取引なし 3:預金者による停止 4:依頼書なし 8:委託者による停止 9:その他

C. トレーラレコード

項番	項目名	文字種 (文字数)	内容	備考
1	データ区分	半角(1)	レコード種別	8:トレーラレコード
2	合計件数	半角(6)	合計請求件数	
3	合計金額	半角(12)	合計請求金額	
4	振替済件数	半角(6)	振替(引落)済の件数	
5	振替済金額	半角(12)	振替(引落)済の金額	
6	振替不能件数	半角(6)	振替(引落)不能の件数	
7	振替不能金額	半角(12)	振替(引落)不能の金額	

4. 振替結果ファイルの出力フォーマット（口座振替）＜全銀協規定フォーマット＞

・全銀協規定フォーマットのファイル形式

レコード 名称	ヘッダ レコード	改 行	デー タ レ コ ー ド 1	改 行	...	デー タ レ コ ー ド n	改 行	ト レ ー ラ レ コ ー ド	改 行	エン ド レ コ ー ド	改 行	EOF
バイト数	120	2	120	2		120	2	120	2	120	2	2

ファイル形式	全銀協規定フォーマット
コード	<ul style="list-style-type: none"> 改行コード（「CR+LF(0d0a)」、「CR(0d)」、「LF(0a)」） ファイルは、改行コードなしの形式でも受付可能です。 エンドレコードの後の改行コードおよび EOF(1a) は任意とします。 このシステムでは、ファイル内の改行コードを一律削除し、120 バイト単位にレコードとして取扱います。
文字コード	JIS コード（漢字は第一・第二水準のみ） EBCDIC は不可

※ 以下の「データ長」欄は、「N:数字、C:文字（漢字を除き、数字を含む）、カッコ内はバイト数」を示します。

A. ヘッダレコード（120 バイト）

項番	項目名	データ長	内容	備考
1	データ区分	N(1)	レコード種別	1:ヘッダレコード
2	種別コード	N(2)	業務種別	91: 預金口座振替
3	コード区分	N(1)	文字コード種別	0:JIS
4	委託者コード	N(10)	金融機関が採番した委託者コード	
5	委託者名	C(40)	委託者名	
6	引落日	N(4)	振替（引落）指定日	mmdd
7	取引銀行番号	N(4)		0142
8	取引銀行名	C(15)	請求元金融機関のカナ名	ヤマシキウキョウ
9	取引支店番号	N(3)	請求元支店コード	統一店番号
10	取引支店名	C(15)	請求元支店のカナ名	
11	預金種目	N(1)	入金口座の科目	
12	口座番号（依頼人）	N(7)	入金口座の口座番号	
13	ダミー	C(17)	未使用	

B. データレコード(120 バイト)

項番	項目名	データ長	内容	備考
1	データ区分	N(1)	レコード種別	2:データレコード
2	引落銀行番号	N(4)		0142
3	引落銀行名	C(15)	請求先金融機関のカナ名	ヤマシチウキノコウ
4	引落支店番号	N(3)	請求先支店コード	統一店番号
5	引落支店名	C(15)	請求先支店のカナ名	
6	ダミー	C(4)	未使用	
7	預金種目	N(1)	請求先口座の科目	
8	口座番号	N(7)	請求先口座の口座番号	
9	預金者名	C(30)	預金者のカナ名称	
10	引落金額	N(10)	登録引落金額	
11	新規コード	N(1)	新規コード	このシステムでは、常に「0」をセットします。
12	顧客番号	C(20)	顧客番号	
13	振替結果コード	N(1)	0:振替済、1:資金不足、2:取引なし、3:預金者による停止 4:依頼書なし、8:委託者による停止、9:その他	
14	ダミー	C(8)	未使用	

C. トレーラレコード(120 バイト)

項番	項目名	データ長	内容	備考
1	データ区分	N(1)	レコード種別	8:トレーラレコード
2	合計件数	N(6)	合計請求件数	
3	合計金額	N(12)	合計請求金額	
4	振替済件数	N(6)	振替(引落)済の件数	
5	振替済金額	N(12)	振替(引落)済の金額	
6	振替不能件数	N(6)	振替(引落)不能の件数	
7	振替不能金額	N(12)	振替(引落)不能の金額	
8	ダミー	C(65)	未使用	

D. エンドレコード(120 バイト)

項番	項目名	データ長	内容	備考
1	データ区分	N(1)	レコード種別	9:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	未使用	

5. 登録データファイルの入力フォーマット（口座振替）＜ CSV形式 ＞

※口座振替の登録データを作成するソフトのファイル形式・フォーマットにつきましては、当該ソフトの販売元にご確認ください。

※全銀協規定フォーマットで登録する場合は、1～2頁と同様です。

ファイル形式	CSV形式（カンマ区切り）
レコード形式	項目 1, 項目 2, 項目 3, …項目 X
レコードごとの改行コード	レコードごとに改行、 （改行コード「CR+LF(0d0a)」、「CR(0d)」、「LF0a)」
文字コード	JISコード（漢字は第一・第二水準のみ）

項番	項目名	文字種 (文字数)	内容	備考	必須
1	振替種類	半角(1)	振替種類	1:口座振替	○
2	請求先口座情報	金融機関コード	請求先金融機関コード	0142	○
3		支店コード	請求先支店コード		○
4		科目	請求先口座の科目		○
5		口座番号	請求先口座の口座番号		○
6	請求先名称（表示用）	全角(10)	支払人の名称（表示用）		△
7	請求先金融機関名（漢字）	全角(15)	請求先金融機関の名称（漢字）	山梨中央銀行	△
8	請求先支店名（漢字）	全角(15)	請求先支店の名称（漢字）		△
9	預金者名	全角(30)	預金者のカナ名称		○
10	登録引落金額	半角(10)	登録引落金額		○
11	顧客番号	全角(20)	顧客番号		△
12	所属グループ	グループ ID1	請求先グループ ID1・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属	○
13		グループ ID2	請求先グループ ID2・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属	○
14		グループ ID3	請求先グループ ID3・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属	○
⋮		⋮	⋮	⋮	⋮
19		グループ ID8	請求先グループ ID8・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属	○
20		グループ ID9	請求先グループ ID9・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属	○
21		グループ ID10	請求先グループ ID10・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属	○
22		最新使用日	半角(8)	このレコードを最後に使用した日付	yyyymmdd
23	登録日	半角(8)	このレコードを作成した日付	yyyymmdd	—
24	更新日	半角(8)	このレコードを更新した日付	yyyymmdd	—

6. 登録データファイルの出力フォーマット（口座振替）

ファイル形式	CSV 形式（カンマ区切り）
レコード形式	項目 1, 項目 2, 項目 3, …項目 X
レコードごとの改行コード	レコードごとに改行、改行コード「CR+LF (0d0a)」
文字コード	JIS コード（漢字は第一・第二水準のみ）

項番	項目名	文字種 (文字数)	内容	備考
1	振替種類	半角(1)	振替種類	1:口座振替
2	請求先 口座 情報	金融機関コード	請求先金融機関コード	0142
3		支店コード	請求先支店コード	
4		科目	請求先口座の科目	
5		口座番号	請求先口座の口座番号	
6	請求先名称（表示用）	全角(10)	支払人の名称（表示用）	
7	請求先金融機関名（漢字）	全角(15)	請求先金融機関名（漢字）	山梨中央銀行
8	請求先支店名（漢字）	全角(15)	請求先支店名（漢字）	
9	預金者名	全角(30)	預金者のカナ名称	
10	登録引落金額	半角(10)	登録引落金額	
11	顧客番号	全角(20)	顧客番号	
12	所属 グループ	グループ ID1	請求先グループ ID1・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
13		グループ ID2	請求先グループ ID2・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
14		グループ ID3	請求先グループ ID3・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
15		グループ ID4	請求先グループ ID4・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
16		グループ ID5	請求先グループ ID5・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
17		グループ ID6	請求先グループ ID6・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
18		グループ ID7	請求先グループ ID7・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
19		グループ ID8	請求先グループ ID8・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
20		グループ ID9	請求先グループ ID9・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
21		グループ ID10	請求先グループ ID10・所属有無フラグ	0:非所属、1:所属
22	最新使用日	半角(8)	このレコードを最後に使用した日付	yyyymmdd
23	登録日	半角(8)	このレコードを作成した日付	yyyymmdd
24	更新日	半角(8)	このレコードを更新した日付	yyyymmdd